

トムトム通信



トムトムの理念

ハンディのある方とそのご家族が地域の暮らしの中でノーマライゼーションを実現するためには利用者が選択できる豊かなサービスが必要で
す。トムトムはパーソナルサービスを提供するシステムの中で、年齢やそ
の障がいの種別にかかわらず利用者主体のサービスの確立をめざします。

トムトムはハンディのある方
とそのご家族のための会員
制のサービスセンターです。

TEL/FAX (0467) 58-8336

目次

夏休み季ごく	1
千代田パーコンサート	4
トムトム現役季ごく	7
お断りせ	8



あの顔・この顔
どんな顔!?
2001・夏



今年もたくさんのボランティアさんにご協力をしていただき、会員の方々に様々な経験をさせていただきました。夏だからこそのプールに海水浴。職員もドキドキしていたキャンプ。8月に入って急に寒くなってしまった天候に頭を抱えましたが、何とか無事にこなすことができました。ボランティアの皆様、参加して下さった会員の皆様、陰ながら支えて下さった保護者の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。皆様の声を聞いて来年への積極的な指針にしたいと思っています。(職員 角田 沙弥)



またみんなが泊まりに行きたいね!!

会員 高野 優さん

8月4日・5日に柳島のキャンプ場に行った。夏休みのイベントはおもしろかったです。夜のカレーライスはとてもおいしかったね。その日は車に乗って行きました。車に乗っていると雨がふってきて夜の花火ができるか(?)しんばいでした。でも夜は花火大会ができてとてもよかったです。トムトムからもっていった花火も浜辺でやりました。夜はあまりねむれなかったけどとても楽しいイベントでした。またどこかに泊まりに行きたいです。ありがとうございました。

会員 高野優さんのお母様

本人の意思で宿泊イベントを選びました。夜、よそで寝ることがとても苦手な優です。寝ることの訓練かと思いつつ参加させているのですが逆に興奮して眠れないようです。(いつになったら眠れるのでしょうか?)親に見えない秘密を持つことが嬉しいようです。今回キャンプということで参加させてみました。とても楽しんできたようです。また大勢のスタッフの方達にもたいへんお世話になりました。次のイベントも楽しみにしているようです。本当にありがとうございました。

ボランティア 沼田 輝美さん

この夏休み何回かイベントに参加しました。普段あまり行かないような所に出かけていくし、立場的なものもあるので、緊張もしましたが楽しかったです。

やっぱりトムトムはすごいところですね!もう行く度に実感します。このようなイベントにしても、実際に行うのにはいろんな手間がかかっているんだと思います。こんな風に頑張ってる人がいることも、こんな頑張り方があるってことも自分は今まで知らずにいたので、どれをとってみてもとても良い経験です。こういうのを大事にしてければなあ、とか思いつつも、そろそろ学校の宿題をやらないとヤバそうなので、この辺で失礼します。(いい加減ですみません)

ボランティア 舩橋 佳奈子さん

毎年トムトムのボランティアに参加していますが、毎年子ども達に対して、どう接すれば良いか悩んでます。今回初めて男の子に付き添いました。また、交通機関を使って現地に行くのも初めてで、とても不安でした。しかし、そんな不安も時間とともになくなり、楽しい一日を過ごせました。

夏休みのイベントに参加して、いろいろなことを子ども達から学ぶことができ、私自身、成長することができました。ありがとうございました。

ボランティア 上條 真衣さん

障害を持った子どもと接した経験は全くと言っていい程なく、ボランティアも初めてで一泊二日のキャンプには不安を抱えながら参加しました。でも私が担当することになったMちゃんとたくさんお話して楽しく過ごすことができました。雨に降られたりもしましたが、無事に花火を見ることができて良かったです。良い経験になりました。

ボランティア 伊藤 祐一郎

僕にとっては初めての体験で、何も役立つことはできなかったけど、一生懸命やってすごく自分自身楽しかったです。しかも僕には弟や妹がいないので、本当に一緒に遊んでいる感覚でやらせてもらってすごくおもしろかったです。

ボランティア 坂本 雅弥さん

今夏はパーベキューの活動に参加させていただきました。いつもは穏やかな子が岩場につまづきながらも懸命に川瀬を散策したり、豪快な印象の子が器用に調理する等普段とはまた異なる子ども達の一面を見ると、彼等の旺盛な好奇心に改めて驚きます。ただ、その好奇心に対していかに力添えするかは、いつも思い悩むところです。自分の幼年期を振り返ってもそうでしたが、子どもは自由奔放で無茶もするし、また子ども独自の価値観もあるので、その好奇心は多方面に振れると思います。そういう、子どもなら当たり前に出る数多の好奇心の芽を「障碍を持つ」という唯それだけのことで摘んでしまうことの無いように心がけているのですが、適切にサポートできないこともあり反省することしきりです。幸い、この夏はみんなの歡を尽くした表情をうかがうと十分に楽しんでいただけたのかなと感じますが、今後も子ども達の心をつかむのに戸惑いつつも、みんなが伸びやかにすごせる場を提供する一助として関わっていただけると、と思います。

ボランティア 坂下 華代さん

私はプールのイベントに参加させていただきました。子ども達はプールがとても大好きなようで、あっちこっちと走り回っていました。正直言って、私はそれを追いかけるので精一杯でしたが、楽しそうに遊んでいる子ども達の笑顔を見ると大変なことも忘れてしまうくらいでした。私は幼稚園教諭をしていて35人の子ども達をみていますが、子ども達の笑顔ってというのは本当に素晴らしく、私もホッとさせられます。トムトムはマンツーマンで見ることができ私自身とても勉強になります。

ボランティア 角田 亜美さん

私は、「柳島キャンプ」に参加させていただきました。最初はトムトムのみんなと仲良くなれるのか不安でしたが、その不安をなくしてくれたのはトムトムのみんなでした。それがすごく私は嬉しかったです。初めて会う子も私に人見知りせず私と楽しく遊んでくれたし、私の言ったことを素直に聞いてくれました。数少ない言葉のなかでトムトムのみんなと心が通じあえた気がして一緒にいた私も楽しく良い経験をさせていただきました。

夏休み大イベント日程表

ボランティア 角田 行弘さん

一夏に、3箇所ものプールに入ったのは初めてでした。もともと泳ぎが苦手なので、めったにプールへはでかけません。でも、どの回も一緒に行った子がとても楽しそうだったので、自分でも楽しめたように思います。台風でしながわ水族館へ行けなかったのは残念でしたが、葛葉の泉での遠慮なしの水かけっこや、すごい火力でのパーベキューで伸び伸び楽しんでいるのを見て、一緒に来て良かったなあと思いました。自分の学校の行事では、活動の消化と生徒の掌握でピリピリして、こんなに余裕を持って生徒を見てはいないよなあと考えてしまいました。学校とは違ういい顔が出る「場」としてトムトムは大事な「場」ですよね。

日時	内容	日時	内容
7. 23	茅ヶ崎養護学校プール	8. 16	辻堂プール
7. 24	電力館	8. 20	辻堂プール
7. 31	海水浴(am・pmの2回)	中止	しながわ水族館
8. 3	茅ヶ崎養護学校プール	8. 23	サーカス鑑賞
8. 4~5	キャンプ	8. 27	しながわ水族館
8. 6	パーベキュー	8. 28	辻堂プール
8. 7	秋葉台プール	8. 29	制作ワークショップ
8. 9	パーベキュー	8. 30	辻堂プール

職員 本間 太郎

“トムトムの夏は忙しいから、倒れないで頑張てね”という、言葉と共に夏がはじまりました。今振り返ると、どのイベントがどうだったかわからないほどの超ハードスケジュール……。40日間で17回というのは、一つのイベントが終わるとすぐにまた次のイベントがやってくるので、あまり先のことを考える余裕もなく、とにかく目の前のイベントをやらなくては……。という日々でした。例えるならば、なかなかゴールの見えない長距離を走る、マラソンランナーのようでしたね(笑)。そんな中でも夏を乗り切れたのは、楽しかったねと言わんばかりの利用者の方々の笑顔や、トムトムを支えてくれた方々がいたからだ、職員一同感じているでしょう……。



～おやじの会コンサート開催奮闘記～

トムトムのチャリティーコンサートに、ご協力頂きまして誠に有難うございました。このコンサートに携わって頂いた皆様に心より感謝すると共に、厚く御礼申し上げます。又、収益金の全額をトムトムへ寄付致しました事も合わせてご報告致します。

さて、このコンサートを開催するに至った経過を、簡単ながらお話をしたいと思います。

今年7月にトムトムの会員のお父さん4人と養護学校の先生、トムトムの常勤本間さんの男ばかり6人で酒の席を設ける事になりました。最初はぎこちなく酒を酌み交わしていましたが、時間が経つにつれだんだん舌も滑らかになり、酔いもほど良い頃に、さすがトムトム会員とその関係者、誰からともなく福祉の話題となり、「これからの福祉」と題して、夢や希望を語り始めました。その時にこのコンサートの話になったのでした。がしかし、酔いも最高の頃ですので、お互い約束をしたものの疑心暗鬼のまま家路につくことになりました。その数日後、まさかと思いきや、この酒の席にいたお父さん（妻さん）より、ジョン・チャヌさんとの約束がとれたという連絡を受け、あわてて実行に取り掛かった次第です。しかし

一抹の不安、お父さん方が準備できるのは土・日ぐらい、しかもたったの4人です。そこで会員のお母さん方の心強い労働力の提供がありました。口頃もそうですが、今更ながら感謝の念を心に抱き、共に準備をさせて頂きました。それからの一日一日、勝負の日が続き、慌ただしく準備を進める中、更なる不安が頭を横切りました。チケットの販売数です。準備期間が短いため販売数が思うように伸びず、不安な毎日が続きました。そうこうしているうちに、あっという間に当日を迎えました。頭の中の計算では約300人の来場者を見込んでいました。会場は最初、空席が目立ちましたが、それも演奏が始まると、そのバイオリンの音に誘われるように徐々に埋まり始めました。いつの頃からか立ち見の人も出てきて、ほっと胸をなで下ろす思いでした。終演後、皆さんと共に心地よい感動の場に居られたこと、無事終演できたことに感謝し、また美味しい酒を酌み交わしました。

このコンサートに携わり、トムトムで働いている方々を通して、ほんの少し障害福祉を知ることが出来ました。夢や希望を語るのも大事でしたが、障害福祉に関心を持ち、現状を見て知ることも大事であると痛感しました。又、障害福祉に関心を持っている人は沢山いても、その人たちの意見を取り入れる場がないのではと思います。今後は、もっともっと大勢の方々に障害福祉への関心を持ってもらうような努力が必要だと思いました。これからのトムトムの活動に期待し、一会員の親としてこれからもトムトムを支えていきます。

満員御礼申し上げます



P.S お父さん方、また楽しい宴を設けましょう。ご希望の方はトムトムまでご連絡下さい。
連絡 おやじの会より

トムトムチャリティーコンサート実行委員会
実行委員長・田尻 敏明

～おやじの会から湧き出た感動～

コンサートを改めてふりかえると、開演前の騒がしい会場が、いざ演奏が始まると静かに聴き入っていた多くの障害者達の姿が印象に残っています。彼らが、私の予想をはるかに超えて大いに楽しんでいることは、大きな発見でした。知的障害者の我が息子も“騒がしかったら会場から出るしかない”と半ば決めていたのに、ちゃんと聴いているのに驚き、“成長しているな”と嬉しくなりました。

以前、“どんぐりの家”という障害者の映画で、“橋の欄干に石ころを並べ、その石達にすばらしい夕焼けをみせている主人公”の心優しく豊かな感受性に泣けてしまいました。多くの障害者達は同じようにすばらしい感性と感覚を持ち、それぞれの生活を豊かに生きているかけがえの無い存在なんだということを改めて思っています。

また、ジョンさんのトークの中で“生演奏に勝るものはない”との話がありました。正にその通りでした。感性を呼び覚まし本物のすばらしさを教えてくれるような深みのあるクリアな演奏に感動致しました。私たちは、ゲームやテレビなどの影響で、ともすれば非現実や偽物を、現実や本物と錯覚し、深く考えたり、見聞きしなくなっているのではないのでしょうか。また、広告や宣伝というマスメディアによっても、そこから作り出された良否の規準や価値判断で、物事を認識し理解しているつもりになっているかもしれません。実は、障害者と共に歩むことで、私達は逆に、彼らから多くのことを教えられるのではないのでしょうか。物があふれ、快適・清潔・便利さのみが追求されるつまり何事も理性と客観性と経済性で処理されていく一社会の中で、失ってきた豊かな心と感受性を蘇らせてくれるような気がします。

最後に、今回のコンサートの実行委員の方々、また協力者の方々の汗とご支援に深く感謝を致します。

実行委員会・鈴木 康治

～ありのままの姿で・・・～

在日韓国人2世のヴァイオリニスト、ジョン・チャヌさんは、50歳を転機にソウル生活を切り上げ、再び日本で音楽活動を始めた。2000年6月、東京都内で朝鮮籍の指揮者、金洪才さんと開いた「ユニティーコンサート」は、祖国統一を願ったもので、多くの反響を呼び、大成功に終わった。そのコンサートが縁でジョンさんと知り合い、以来、何度かコンサートに招待される機会に恵まれた。

生のクラシック音楽に接することがあまりなかった私にとって、非日常の体験は充分刺激的だった。しかし、頭の中にはほかの考えが占めていた。それは、いつの日か自閉症児の娘と一緒に会場に出かけ、音楽を聴くことができるだろうか、というものだった。

「音楽は文字通り音を楽しむもの」と語るジョンさんに、思いきって障害児のためのチャリティーコンサートを打診した。OKの答えがすぐに返ってきた。千葉でも同様のコンサートの話が進んでいると付け加えた。

温めていた企画が現実のものになったのは、夏休み最後の日曜日。心配していた客の入りも、立ち見まで出る盛況ぶりだった。打ち上げでジョンさんは、「とてもいい子どもたちだった。気持ちよく演奏できた。また、機会があれば…」と今後の広がりを見つめた。

親たちははらはらドキドキで音楽を楽しむ余裕がなかったかもしれない。だが、子どもたちはありのままの姿をとがめられずに、彼らなりのスタイルで演奏にひたっていた。その姿こそ共生の形だと思った。

誰もが権利を制限されない居住空間がほしい。障害や性別、年齢や国籍で門前払いをされない豊かな社会を地域に根づかせたいと思う。コンサートを何とか成功させようと、夏の暑さにもへこたれなかったのは、娘の喜ぶ顔が見たかったからだ。神様が私たち夫婦に自閉症児を授けた大きな意味を、初めて素直に受けとめることができた夏の夜だった。

実行委員会・妻哲恩（パーチャオルン）



参加者感想

会員・伊藤大地くんのお母様

夜のお出かけで大地はニコニコ。会場に着いてもワクワクで足取りも軽く中に入りました。演奏中も「どうかな？」と心配でしたが、よく聴いていました。私にとってもホッとした時間をいただけて嬉しかったです。またこのような機会があったら参加したいと思います。

会員・半澤悠さんのお母様

チャリティーコンサートは我が家の夏休み最後のイベントにもなりました。どんな感じのコンサートなのかしらと思いつつ会場へ・・・なんと満席状態の大盛況！！クラシックコンサートの会場とは思えぬほどの賑やかな？会場でしたが、ジョンさんのやさしい語り口で一曲一曲丁寧な解説、そして心に染み入るヴァイオリンの音色・・・癒しのひと時を過ごす事ができました。最後のお話の中の「お父さん、お母さんどうか頑張ってください」そんなありきたりの言葉にさえ、何故か胸が熱くなったのは私だけでしょうか。理解あるジョンさんに感動！！コンサートを成功させたスタッフの皆様拍手！！そして私たち親子に楽しい夏休みを過ごす事ができるよう、努力して下さったトムトムに感謝！！

会員・久米賢志郎くんのお母様

コンサート会場に着くと、たくさんのお客様にびっくりしました。障害をもつ子ども達へのジョンさんの暖かい心遣いにも感動しました。内容は、なにしろ選曲がステキでした。特に「イムジン河」は素晴らしかったです。30年前、私が中学生だった頃、コーラス部で合唱した思い出の曲でした。美しいメロディーと共に、悲しい詩がよみがえり、胸が熱くなりました。また、このようなコンサートに参加できたら嬉しいと思います。

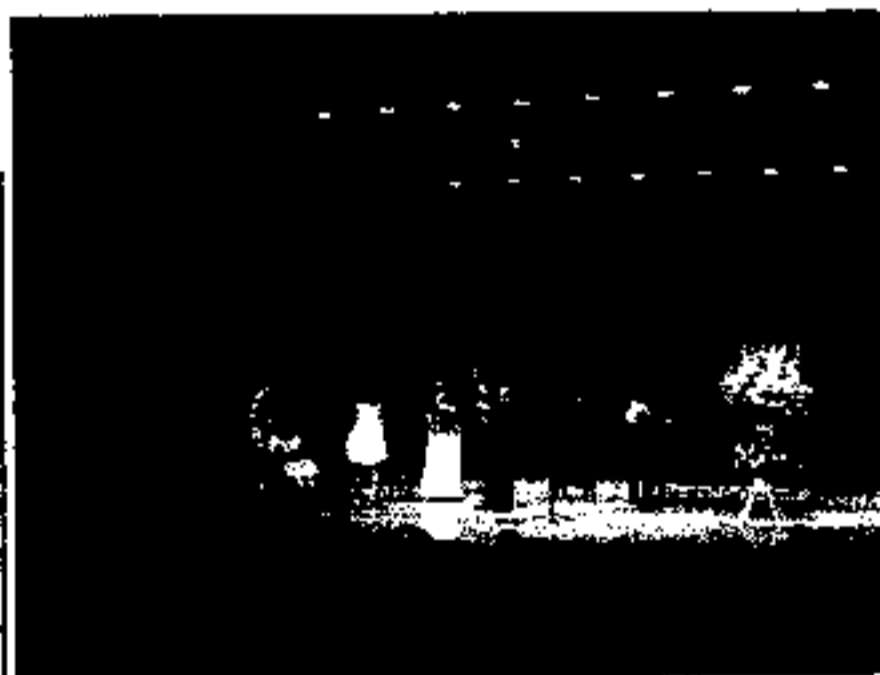
会計報告です。

支出の部→

収入の部↓

費目	金額
チケット代	491,000
賛助・寄付金	662,000
合計	1,153,000

費目	金額
印刷製本費	57,099
会場賃借費	74,125
謝礼金	101,575
消耗品費	25,268
随筆費	41,953
通信費	33,056
費用合計	333,076
収益金	819,924
合計	1,153,000



最後に利用会員の藤智伊さんと牧野聡さんが、お花をプレゼントしました☆

日本全国不況の今、トムトムは右肩上がりの利用状況です！（だからといってトムトム経済が「好景気」という訳にはいかないのですが…）。今年9月現在の会員数は47名、スタッフは常勤8名、非常勤10名体制。毎日フル稼働でサービス提供を行っています。最近の傾向として、下記4点があげられます。

①同一時間帯における短時間利用の増加

→本当に必要なときに、ジャストタイミングでトムトムを利用される会員さんが増加しているようです。逆にトムトム側はいつでも出動できる多くの職員を準備する必要に迫られています。

②夏期（7～9月）利用時間の増加

→昨年度比+約300時間の増加です。イベント回数を昨年度に比べ大幅に増やしたことが原因の一つと考えられます。

③緊急利用の増加

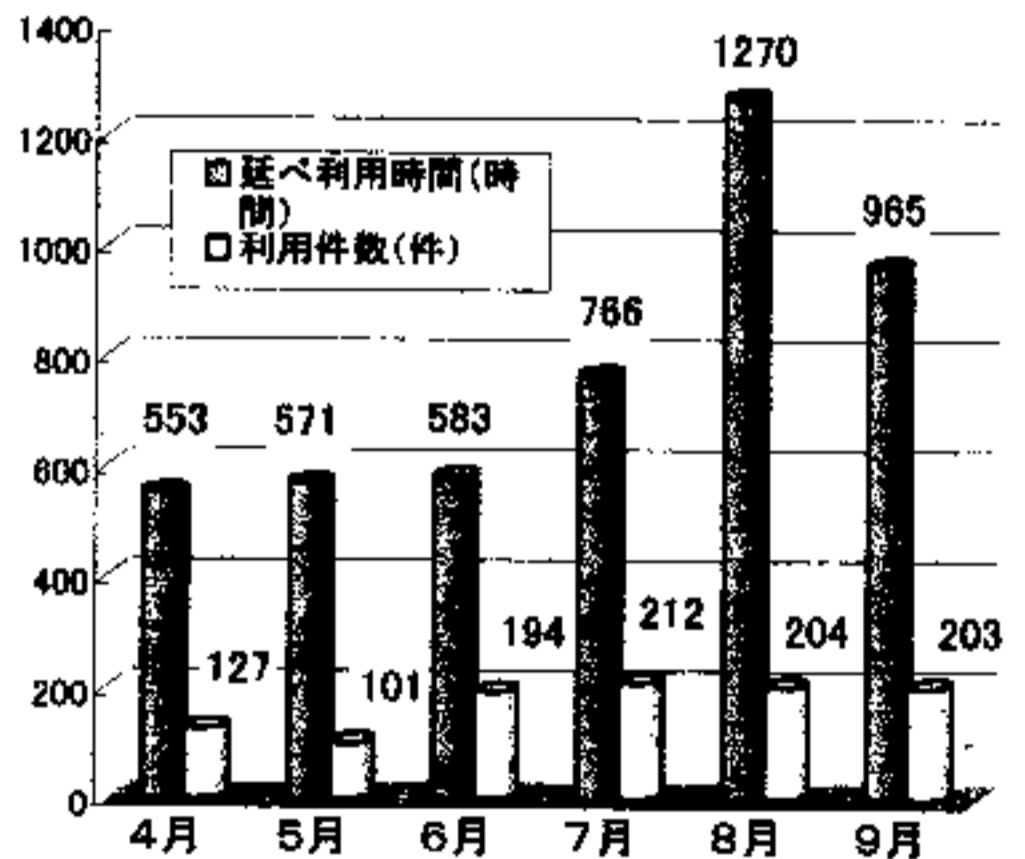
→トムトムの本分ですが、同居ご家族の急病などに緊急対応することが増えてきました。

④成人会員の増加

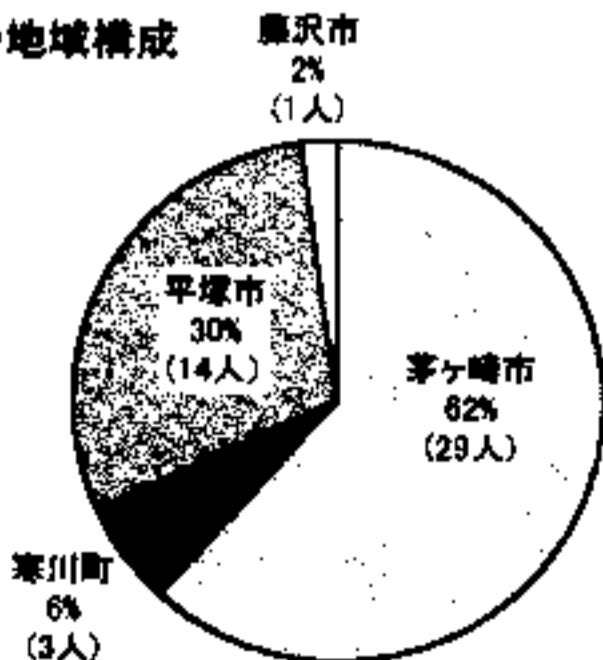
→小学生会員が大半を占めるトムトムですが、成人会員が漸増中。伴って休日の利用件数が増えています。

利用者の皆さんはどんどん「サービスの使い方」が上手になっているのに、提供側はそれについていけない…それがここ最近の実感です。利用者についていくための努力はもちろん続けますが、トムトムが無限に役割を拡張、人員を増やせるわけではありません。「地域全体の中で一定の役割を果たしたい」とは思いますが、地域全体ってのが、全然見えてこない（あるいは見えても暗い…）。明らかにトムトムは分岐点にさしかかっています。（職員・山本）

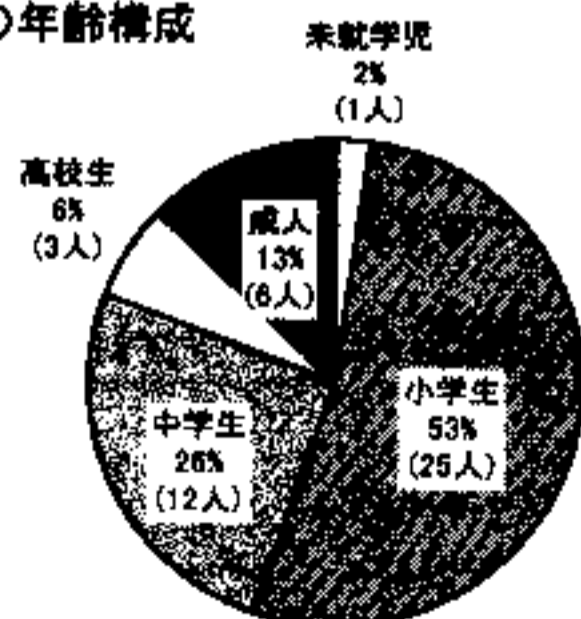
4～9月の利用時間・利用件数



会員の地域構成



会員の年齢構成



今年もやりませす！バザー出店！

来る11月3日（土）茅ヶ崎中央公園で行われるふれあい祭りに、トムトムでは3回目の出店をいたします。今回は、うどん・フランクフルト・ラムネ・不用品・手作り品の販売を行う予定です。時間の許す範囲で結構ですので、お手伝いいただけると助かります。お手伝いいただけるかたは、トムトムの職員または、バザー担当の鈴木・高橋までご連絡ください。お待ちしております！！

ボランティア

大募集

トムトムでは、常時ボランティアを募集しています。特にお願いしたいのは、火曜・木曜の「学童クラブ」のお手伝いです。（公園での遊びが主で、14:00～17:00くらい）高校生以上の方でやってみようかなどお考えの方は是非、お申し出下さい。皆様方のあいている時間を少しお借りして、できるだけ多くの方々がトムトムを利用できるようにしていきたいと考えています。もちろん、ボランティア中の万一の事故に備え、保険に加入しています。ぜひトムトムの活動をお手伝いください。お電話お待ちしております！

ボランティアいつもおかげさまでございませす！

沼田様・浅倉様・五十嵐様・井基様・上條様・安田（剛）様・金子（栄）様・金子（ま）様・真木様・岩崎様・森谷様・角田（亜）様・坂本様・鈴木様・吉村様・佐藤様・後藤様・坂下様・鶴巻様・伊藤様・橋本様・角田（行）様・角田（智）様・杉山様・松井様・須藤様・安田（愛）様・橋本様・窪川様・山本様・野村様・木暮様・国井様・米久保様・近藤（真）様・近藤（玲）様・谷口様・中澤様・島田様

賛助会員・ご寄付おかげさまでございませす！

横山様・宮崎様・鼠野様・古谷様・石野様・若代眞様・若代愁様・鈴木様・溝口様・高月様・上野様・小沢滝次郎様・小沢節子様・清水様・小泉様・益永様・成様・上野様・井口様・三浦様・八王子ステップ様・山本様・木藤様・横山様・柏原様・松永様・真木様・トムトムチャリティコンサート実行委員会様・飯尾様・新倉様・吉村様・佐藤様・後藤様・森谷様・五十嵐様・小黒様・滝沢様

賛助会員のご入会・ご更新をお願いします。

利用者が増え、需要が高くなってきている昨今、公的な助成金が来だなお認められないために、相変わらず運営が厳しい状態です。

賛助会員の会費は年間、個人・団体共に一口3000円をお願いしております。会員になられた方には、定期的にトムトム通信をお届けさせて頂きます。年会費のお支払いは関係者に直接お渡し頂くか、郵便局よりお振込み頂ければ幸いです。

ハンディのある方とその家族の明るい未来のために、皆様のあたたかいご支援をお待ちしています。よろしくごお願い申し上げます。

郵便局口座番号：10220-82239161

加入者口座名義：特定非営利活動法人パーソナルサービスセンタートムトム

特定非営利活動法人 パーソナルサービスセンター トムトム

〒253-0071

神奈川県茅ヶ崎市萩園1624-2

電話/fax 0467 (58) 8335

携帯電話 090-3087-3220(緊急用)

Email tom-tom@alto.ocn.ne.jp

ホームページもご覧下さい。

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Momiji/8837/index.html>